

図書館漫歩

●開室時間 9:00~17:00
●休室日 毎週月曜日 TEL・FAX 36-1044

◆幼児向け



わらべ きみか
ポブラ社

『なぞなぞ あいうえおばけは なあに?』

ここはお化けの国。お化けなぞなぞを解いて、お化けに変身しているものの正体を当ててね。犬と同じで足が4本あっても歩けぬ「い」のつくものは?

『ミラクル・クッキー めしあがれ!』

ルルはケーキ作りが大好きな12歳の女の子。謎の本屋で出会った本は、世にも不思議な魔法のレシピ。このレシピで作ったものには、不思議なパワーがあるみたいだけど…。

◆小学生向け



フィオナ・ダンパー
フレーベル館

◆一般向け



たかはし みき
ワニブックス

『らくウマ! どんぶりレシピ』

簡単どんぶり、ヘルシーどんぶり、ボリュームどんぶり、各国どんぶりの分類別にすべてイラストで紹介されています。お手軽なものが多いため試してみたいかがですか?



体動かし笑って元気

村地域包括支援センター主催の生き生き元気教室が2月12日、保健センターで開かれました。この教室は高齢者の健康づくりと介護予防が目的。歯科・口腔内検診や体力測定、運動などが10回シリーズで行われました。青森県八戸市の小西池郁子介護予防指導員の指導の下、参加者14人は約2時間柔軟体操などをしました。(写真)小西池さんも毎日することと同じで、運動も楽しんで続けてください」と話していました。

1日入園しました

普代児童館(野崎貞信館長、園児60人)の1日入園が2月8日、同館で行われました。

今年4月に入園する園児は男12人、女7人の計19人。子どもたちは名前を呼ばれると元気に「ハイ」と答え、体操やゲームをしたり、紙芝居などを楽しみました。(写真)お母さんは子どもたちがおやつを食べている間、登降園時間や持ち物などを確認し合い、入園に備えました。



北緯40度

そぞろある記



地区民がサクラ剪定

上区(澤口良平会長)と緑区老人クラブ(松頭宏治会長)の地区民13人が2月23日に上区の国道45号沿いのサクラの木の枝切りを、旭日区(宇部治郎会長)の地区民20人が3月2日、毎年恒例の茂市川沿いのサクラの枝切りに、それぞれ汗を流しました。上区の国道45号のサクラは、8割方がテグス病に



かかっていたことや、道路の見通しが悪くなったことから、今年初めて行われ、病気部分の枝をチェーンソーで切り落としました。(写真)一方、旭日区の活動は地区の美化運動の一環として毎年実施。それぞれの地区では村のサクラの名所の保全と復活を祈りました。

三陸ふだいを満喫



岩手県北観光と村観光協会主催の三陸ふだいのモニターツアーが2月16、17の両日行われ、内陸部の住民が鉄山染やホウレンソウの摘み取りなどを体験し普及を満喫しました。ツアーには盛岡市などから約30人が参加。初日は萩牛地区地域特産品生産施設で鉄山染に挑戦。夜は国民宿舎くろさき荘で旬のワカメなどを味わい、17日には和野山で寒締めホウレンソウの摘み取りを体験。(写真)シイタケの植菌体験や鶴鳥神楽も鑑賞したりと皆さん満足そうでした。

津波犠牲者を追悼

明治と昭和の三陸大津波で犠牲となった方々を追悼する、津波記念日慰霊祭が3月3日、中央区の「横町津波記念塔」と太田名部の「津波記念塔」前で行われました。

慰霊祭には深渡宏村長、中村裕村議会議長をはじめ役場・消防関係者、地区住民ら約100人が出席。深渡村長は「記念塔に刻まれている注意事項を胸に、日ごろから津波に備えてほしい」とあいさつしました。皆さんは犠牲者の冥福を祈り慰霊塔に献花し(写真)、午前8時のサイレンを合図に1分間の黙祷をしました。



春限定
バレンタイン
好評発売中!!

中央区 三船製菓 ☎35-2020

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替

沢口畳店

普代村13-12-8 TEL・FAX 0194-35-2561